

高松協同病院の診療データ

退院患者数 (2024年10月~12月)

回復期リハビリテーション病棟から退院された患者数です。

西病棟 50人 東病棟 60人

退院患者の回復期リハビリテーションを要する状態の区分別内訳 (2024年10月~12月の退院患者)

	西病棟	東病棟
脳血管疾患、脊髄損傷、頭部外傷、くも膜下出血のシャント手術後、脳腫瘍、脳炎、急性脳症、脊髄炎、多発性神経炎、多発性硬化症、腕神経叢損傷等の発症後若しくは手術後の状態又は義肢装着訓練を要する状態	12名	13名
高次脳機能障害を伴った重症脳血管障害、重度の頸髄損傷及び頭部外傷を含む多部位外傷	24名	6名
大腿骨、骨盤、脊椎、股関節若しくは膝関節の骨折又は2肢以上の多発骨折の発症後又は手術後の状態	6名	28名
外科手術又は肺炎等の治療時の安静により廃用症候群を有しており、手術後又は発症後の状態	6名	12名
大腿骨、骨盤、脊椎、股関節又は膝関節の神経、筋又は靭帯損傷後の状態	0名	0名
股関節又は膝関節の置換術後の状態	2名	1名
急性心筋梗塞、狭心症発作その他急性発症した心大血管疾患又は手術後の状態	0名	0名
適応外	0名	0名

在宅復帰率 病棟全体 90.8%

(2024年10月~2024年12月)

リハビリテーション実績指数 (2024年7月~2024年12月)

回復期リハビリテーション病棟におけるリハビリテーションの提供実績（FIM改善結果）が一定の水準以上であることを示す指数です。基準は40以上。

病棟全体 53.6

高松協同病院の診療データ

退院患者数 (2024年7月~9月)

回復期リハビリテーション病棟から退院された患者数です。

西病棟 45人 東病棟 62人

退院患者の回復期リハビリテーションを要する状態の区分別内訳 (2024年7月~9月の退院患者)

	西病棟	東病棟
脳血管疾患、脊髄損傷、頭部外傷、くも膜下出血のシャント手術後、脳腫瘍、脳炎、急性脳症、脊髄炎、多発性神経炎、多発性硬化症、腕神経叢損傷等の発症後若しくは手術後の状態又は義肢装着訓練を要する状態	8名	18名
高次脳機能障害を伴った重症脳血管障害、重度の頸髄損傷及び頭部外傷を含む多部位外傷	21名	5名
大腿骨、骨盤、脊椎、股関節若しくは膝関節の骨折又は2肢以上の多発骨折の発症後又は手術後の状態	8名	27名
外科手術又は肺炎等の治療時の安静により廃用症候群を有しており、手術後又は発症後の状態	5名	8名
大腿骨、骨盤、脊椎、股関節又は膝関節の神経、筋又は靭帯損傷後の状態	0名	0名
股関節又は膝関節の置換術後の状態	1名	4名
急性心筋梗塞、狭心症発作その他急性発症した心大血管疾患又は手術後の状態	0名	0名
適応外	2名	0名

在宅復帰率 病棟全体 96.0%

(2024年4月~2024年9月)

リハビリテーション実績指数 (2024年4月~2024年9月)

回復期リハビリテーション病棟におけるリハビリテーションの提供実績（FIM改善結果）が一定の水準以上であることを示す指数です。基準は40以上。

病棟全体 55.1

高松協同病院の診療データ

退院患者数 (2024年4月～6月)

回復期リハビリテーション病棟から退院された患者数です。

西病棟 47人 東病棟 72人

退院患者の回復期リハビリテーションを要する状態の区分別内訳 (2024年4月～6月の退院患者)

	西病棟	東病棟
脳血管疾患、脊髄損傷、頭部外傷、くも膜下出血のシャント手術後、脳腫瘍、脳炎、急性脳症、脊髄炎、多発性神経炎、多発性硬化症、腕神経叢損傷等の発症後若しくは手術後の状態又は義肢装着訓練を要する状態	11名	11名
高次脳機能障害を伴った重症脳血管障害、重度の頸髄損傷及び頭部外傷を含む多部位外傷	27名	6名
大腿骨、骨盤、脊椎、股関節若しくは膝関節の骨折又は2肢以上の多発骨折の発症後又は手術後の状態	3名	41名
外科手術又は肺炎等の治療時の安静により廃用症候群を有しており、手術後又は発症後の状態	3名	12名
大腿骨、骨盤、脊椎、股関節又は膝関節の神経、筋又は靭帯損傷後の状態	0名	0名
股関節又は膝関節の置換術後の状態	1名	2名
急性心筋梗塞、狭心症発作その他急性発症した心大血管疾患又は手術後の状態	0名	0名
適応外	2名	0名

リハビリテーション実績指数 (2024年1月～2024年6月)

回復期リハビリテーション病棟におけるリハビリテーションの提供実績（FIM改善結果）が一定の水準以上であることを示す指数です。基準は40以上。

病棟全体 52.9

高松協同病院の診療データ

退院患者数 (2024年1月～3月)

回復期リハビリテーション病棟から退院された患者数です。

西病棟 39人 東病棟 58人

退院患者の回復期リハビリテーションを要する状態の区分別内訳 (2024年1月～3月の退院患者)

	西病棟	東病棟
脳血管疾患、脊髄損傷、頭部外傷、くも膜下出血のシャント手術後、脳腫瘍、脳炎、急性脳症、脊髄炎、多発性神経炎、多発性硬化症、腕神経叢損傷等の発症後若しくは手術後の状態又は義肢装着訓練を要する状態	7名	12名
高次脳機能障害を伴った重症脳血管障害、重度の頸髄損傷及び頭部外傷を含む多部位外傷	27名	2名
大腿骨、骨盤、脊椎、股関節若しくは膝関節の骨折又は2肢以上の多発骨折の発症後又は手術後の状態	2名	31名
外科手術又は肺炎等の治療時の安静により廃用症候群を有しており、手術後又は発症後の状態	3名	12名
大腿骨、骨盤、脊椎、股関節又は膝関節の神経、筋又は靭帯損傷後の状態	0名	0名
股関節又は膝関節の置換術後の状態	0名	1名
急性心筋梗塞、狭心症発作その他急性発症した心大血管疾患又は手術後の状態	0名	0名
適応外	0名	0名

リハビリテーション実績指数 (2023年10月～2024年3月)

回復期リハビリテーション病棟におけるリハビリテーションの提供実績（FIM改善結果）が一定の水準以上であることを示す指数です。基準は40以上。

病棟全体 50.9